

日本共産党大垣市議会議員 はんざわ多美の市政報告

第73号 2023年1月新年号

2023 謹賀新年！

明けましておめでとうございます！



旧年中は、大変お世話になりました。

2022年は二度の国政選挙があり、日本共産党に多くのご支援をいただきありがとうございました。にもかかわらず続く岸田自公政権は、平和外交を優先するどころか、年末にも、「軍備増強」を行う文書を閣議決定しました。これによると、これまで曲がりなりにも守ってきた「専守防衛」をかなぐり捨てて、日本が「敵基地攻撃能力」を保有し、軍備増強を行うという内容です。しかもそれは、所得税の増税や社会保障削減をもって財源にしようする、とんでもない政治 がここまできたかと愕然としています。

一方で、大垣市政では、根拠となる資料や市民説明、市民参加が不十分なまま、唐突に出された施策が進められる事態に直面した2022年でした。「ごみ有料化施策」しかり、「城ホールの芝生広場移転計画（2022年3月議会でいったん白紙撤回しましたが）」しかりです。「住民に寄り添いやすい」規模という地方自治の強みが疎かになっていることに強い危機感を感じました。

2023年、「有名無実化している市民参加を市民の手に！」「もっと市民目線で政策立案を！」「さまざまな制約を自ら敷いて、十分な議論を行えない議会になってしまっている議会の運営改革を！」

日本共産党大垣市議員団では、大垣市民の声なき声と向き合い、市民の苦難あるところに寄り添った議員活動をさらに推し進める決意です。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

「有料化ありき」の施策で本当に良かったのか！

「物価高騰のさなかに、ごみ有料化すべきではない。延期を」との請願が「ごみ問題を考える会」から提出されました。市長の暴走を止められるのは、議会しかありませんでした。本当に残念でなりません。

令和4年12月議会 「ごみ袋有料化」を一年延期することを求める請願への立場					
自由民主党緑風会	自民クラブ	民主クラブ	市議会公明	市民ネット	日本共産党
林・石川・日比野・田中・長谷川・関谷・空・近沢・不破・種田	高橋・岩井・岡本・川上	丸山・粥川・北野	中田ゆ・梅崎	岡田	はんざわ・中田と
×	×	×	×	○	○

あわせて、市長の専決処分とされてしまった（本来は臨時議会を開くべきだった）「コロナ臨時交付金7000万円で、燃えるゴミ袋（一人10枚）郵送事業」に対しては、反対しました。

「ゴミ減量化」には日本共産党議員団も賛成です。しかし、今回の「ごみ減量化」の掛け声は、「有料化」のための口実との批判は免れないものでした。市民の願いに背を向ける施策に対しては、ブレずに、きっぱりとした姿勢を貫きます。

12月議会一般質問 高齢者タクシー補助制度の実証実験

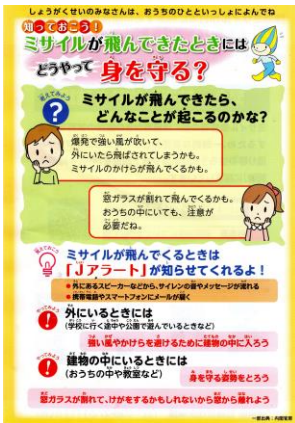
【質問趣旨】「燃えるゴミ袋(一人10枚)郵送事業」に使う7000万円の予算があったら、高齢者タクシー補助制度の実証実験ができたのでは？

【回答趣旨】高齢者バス通院助成事業や外出支援サービス事業を行っている。

【主張】高齢者バス通院助成事業は、年間実績[令和3年度] 20万円(利用人数30人)。外出支援サービス事業(上石津限定)は、99万円(利用人数18人)。

高齢者の交通支援としては、やっているといってもあまりにもお粗末というほかない状況です。

ミサイルが飛んできたときには、どうやって身を守る？



年末に岐阜県の小中・高校で全校生徒に配られました。

内容は、「おうちの人と一緒に読んでね」との見出し。外にいるときは、「強い風やかけらを避けるために建物の中に入ろう」建物の中にいるときは、「身を守る姿勢をとろう」「窓から離れよう」。ミサイルが飛んで来たら、「爆発で強い風が吹いて外に居たら飛ばされてしまうかも。ミサイルのかけらが飛んでくるかも」と書かれています。

小学生たちはまじめで純粋ですから、「ミサイルが飛んでくるのか?」「帰り道にどこに隠ればいいのか?」「怖い」など、さまざまな反応を示していました。親さんたちからは、「こんなチラシ配られてもどうやって教えられるの?」「戦前の竹槍で応戦。防空壕で死ぬ悪夢の再来みたい」「戦時中か?」「かわいいイラストで怖いことが書かれて

いて、かなり違和感」などといった声が寄せられています。

このチラシは、岐阜県だけが作成配布しています。発行元の岐阜県危機管理政策課は、「災害の一つとして自分の身は自分で守ってほしい意図」といいますが、市教育委員会も通さずに、いきなり学校にこのチラシを送付して先生方を通じて子どもたちに配らせた今回の件を私たちは見過ごすことはできません。

戦争は、明らかに人災です。天災の地震や水害と同列に訓練させて子どもたちの不安を煽ってはいけません。今やるべきは、大人たちが戦争への道を歩ませない努力をして子どもたちを安心させることです。

配付された数日後、子どもが通う西小学校校長とお話しし、「戦争はだめ。今後、子どもたちを不安に陥れない配慮をすること」との確認をしました。

また、岐阜県危機管理政策課へ県議会議員や三尾圭司さん、市民団体の皆さんと抗議要請に行きました。

小中学校給食無料化が実現！ 12月～2月の3か月間

9月一般質問で行った「給食費無料化」が3か月だけですが実現しました。給食費支援は徴収の免除であり、学校も給食費集金の雑務から免れます。給食費無償化は「財源がない」といいますが、600億円規模の財政をもつ大垣市であり、当然可能です。給食費の無償化は全国に拡がりつつあります。諦めずに要望していきます。

通学路を安全に 学校とともに要求実現！ (西小学校前交差点)



相当長い間、引き直しがされてい wasn't. 11月に追加要望を学校からも出してもらい、1月にはきれいに整備されました。気になるところの改善は、市民の声から。よかったですね。